

領域;看護部

医療ニーズ:点滴の滴下数を簡便に合わせられる装置



医療ニーズ提案部門
滋賀医科大学 附属病院 看護部



「簡易に点滴の滴下数を合わせたい」

■看護部ホームページ
<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>

■ニーズの背景

- ・輸液ポンプは簡易に増設できるが、増加とともに操作が煩雑になる。
- ・滴下数に精度が求められる薬剤を除き、簡便なポンプで滴下数をコントロールできれば十分であり、そのような目的にかなう簡便な滴下装置があれば、医療従事者の負担軽減、患者さんの安全の向上を図れる。

■現在の対応方法

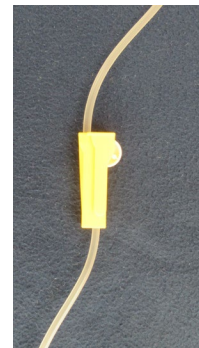
- ・手動(クレンメ調節)で滴下数を合わせている。
- ・必要に応じて、輸液ポンプで行う。

■使用頻度や市場性(マーケットサイズ)に関する情報

- ・輸液ポンプの市場規模:約81億ドル(2016年)

出典: http://researchstation.jp/report/MAM/4/Infusion_Pump_2021_MAM457.html

【イメージ・参考例】現状の装置(クレンメ)



機能アイデア例

- ・適切な制度で滴下できる機能
(クレンメより高精度のもの)
- ・ポンプより簡便なこと
- ・ポンプより安価なこと

お問合せ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携係

電話: 077-548-2847

メール: hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp